

薬の伝言板 … 認知症

No.152 2010年7月

丸子中央総合病院 薬剤部

本格的な高齢化社会に突入し、それに伴い認知症の患者さんも年々増加してきました。
現在 85 歳以上の高齢者の 3~4 人に 1 人は認知症といわれています。



☆認知症とは？

「久しぶりに会った人のことが思い出せない…」このような経験は誰でもあると思います。
この場合の「もの忘れ」は自然な老化によっておこる「歳のせい」で、誰にでも起こります。
一方、**認知症**は脳が病的に障害されておこる病気で、多くは「**アルツハイマー型認知症**」と「**脳血管性認知症**」です。

	アルツハイマー型	脳血管性
原因	脳内の神経細胞が急激に減り、脳が萎縮する(小さくなる)こととされている	脳梗塞がある場合など、脳全体の血流が低下している
特徴	認知症をきたす疾患の中で一番多い 65 歳以下の若年性アルツハイマー型がある	梗塞部分により、症状が異なる 生活習慣病、喫煙など動脈硬化の危険因子を持っていることが多い
進行	ゆっくり進行する「もの忘れ」が特徴 抑うつや妄想ではじまることもある	脳梗塞後、突然症状が現れたりする

☆症状は？

認知症の症状は**中核症状**(必ずみられる症状)と、それに伴って起こる**周辺症状**(必ずみられるとは限らない症状)に分けられます。

○中核症状

- ・ 記憶障害 … 同じことを言ったり、聞いたりする。置き忘れ、しまい忘れ。など
- ・ 見当識障害 … 今がいつなのか、ここがどこなのかわからなくなる。
- ・ 判断力の低下 … 冬でも薄着で外出する。など

○周辺症状

- ・ 攻撃的傾向 … 介護者への抵抗
- ・ 不穏(ふおん) … 気持ちや言動が不安定な穏やかではない様子
- ・ 抑うつ … 気分が落ち込んでいる憂鬱な状態



その他、徘徊、幻覚・妄想、不眠などの精神症状、異常行動がみられたりすることがあります。
※症状には人によって差があります。

☆薬物治療

認知症の中心となる症状を根本的に治療する薬は今のところありませんが、アルツハイマー型認知症の症状の進行を遅らせる薬が出ています。



また、ご家族の方を悩ませているのは、おもに周辺症状だと言われています。その内いくつかの症状は、適切な薬を使用することによって軽くなる場合があります。

★ アリセプト(アルツハイマー型認知症治療薬)

…アルツハイマー型認知症の症状を改善し、進行を抑制します。

★ サアミオン(脳循環・代謝改善薬)

…脳梗塞後遺症による認知障害、自発性低下を改善します。

★ グラマリール(脳梗塞後遺症治療薬)

抑肝散(漢方薬)

…攻撃的行動、不穏症状などの周辺症状を改善します。

☆介護をする上でのポイント

認知症の治療には、どうしても**介護者の理解**が必要になります。

- 残った機能を生かして、日常生活を維持できるようにしましょう。
- 認知症だからといって軽視したり、無視したりして、自尊心を傷つけないようにしましょう。
- 認知症発症前の仕事や生活を評価してみましょう。(以前の体験を思い出すことで、自分の価値の再発見、自尊心の維持、感情や意欲の改善につながります。)
- 薬を服用し忘れたり、服用したことを忘れて飲み過ぎてしまったりすることがあります。できる限り介護者が薬の管理をするようにしましょう。



認知症は、早期発見・早期治療が大切です。
しかし、患者さんご自身が気づく事は難しい病気のため、日頃から身近にいる方の発見が重要です。

「おかしい」と思ったら、年齢のせいと考えて放置することなく、出来るだけ早い時期に、お近くの医療機関に相談に行きましょう。

